

令和3年度予算

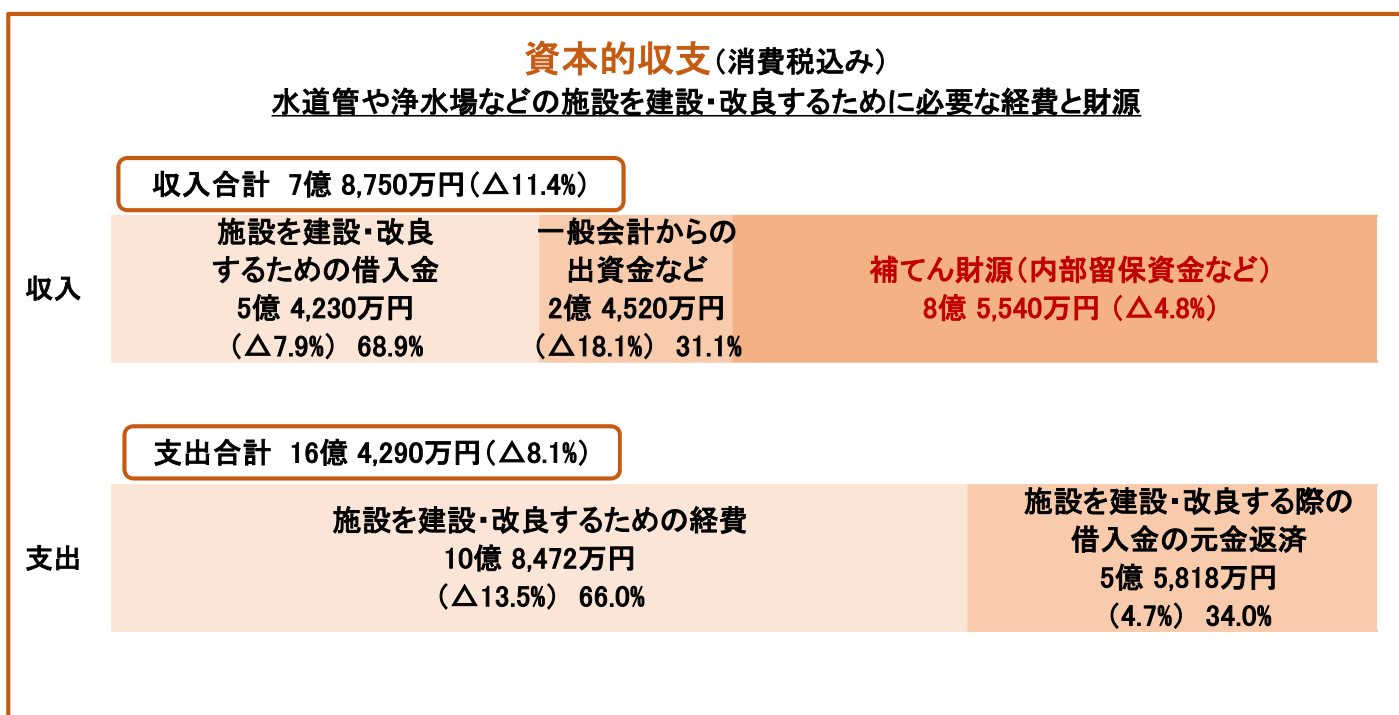
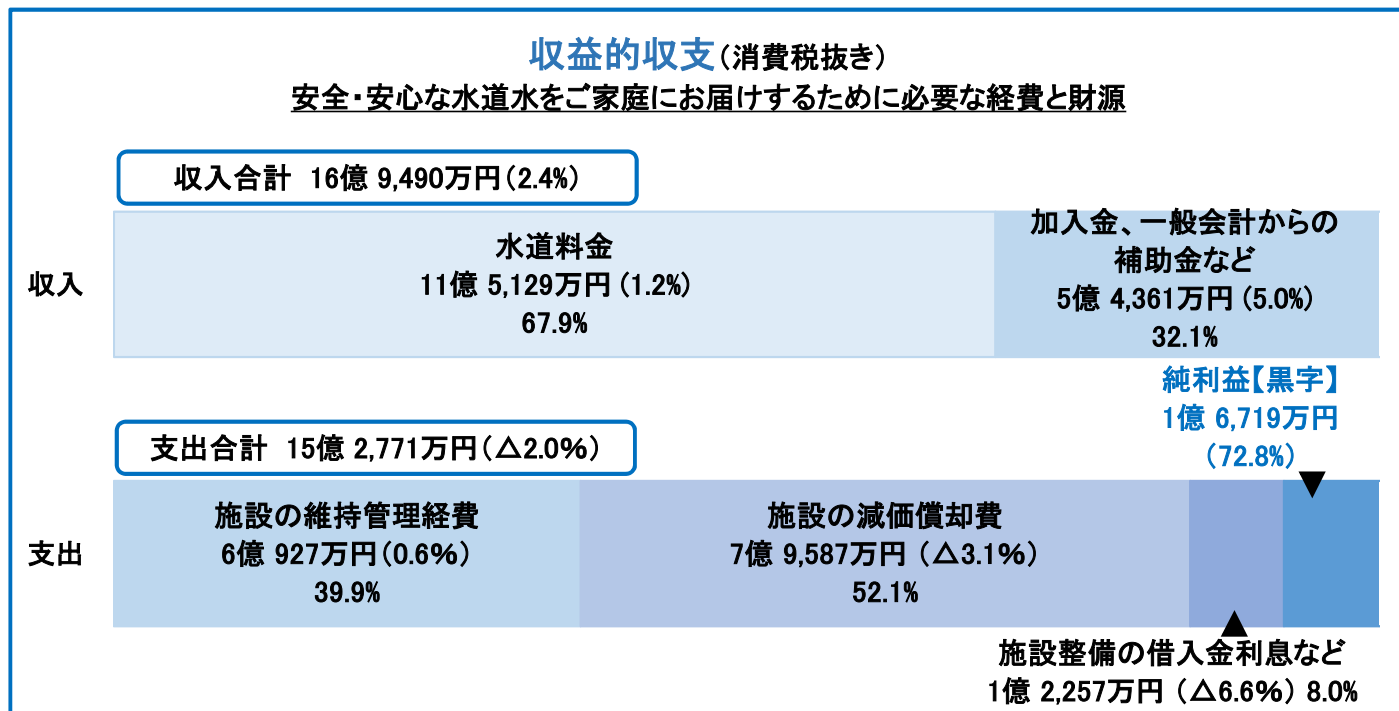
	ページ
1 上下水道事業の予算概要	1
2 水道事業会計予算	5
3 下水道事業会計予算	11
4 企業債未償還残高の推移	16
5 参考資料	17

1 上下水道事業の予算概要

令和3年度

水道事業会計

※ () は対前年度比増減比率

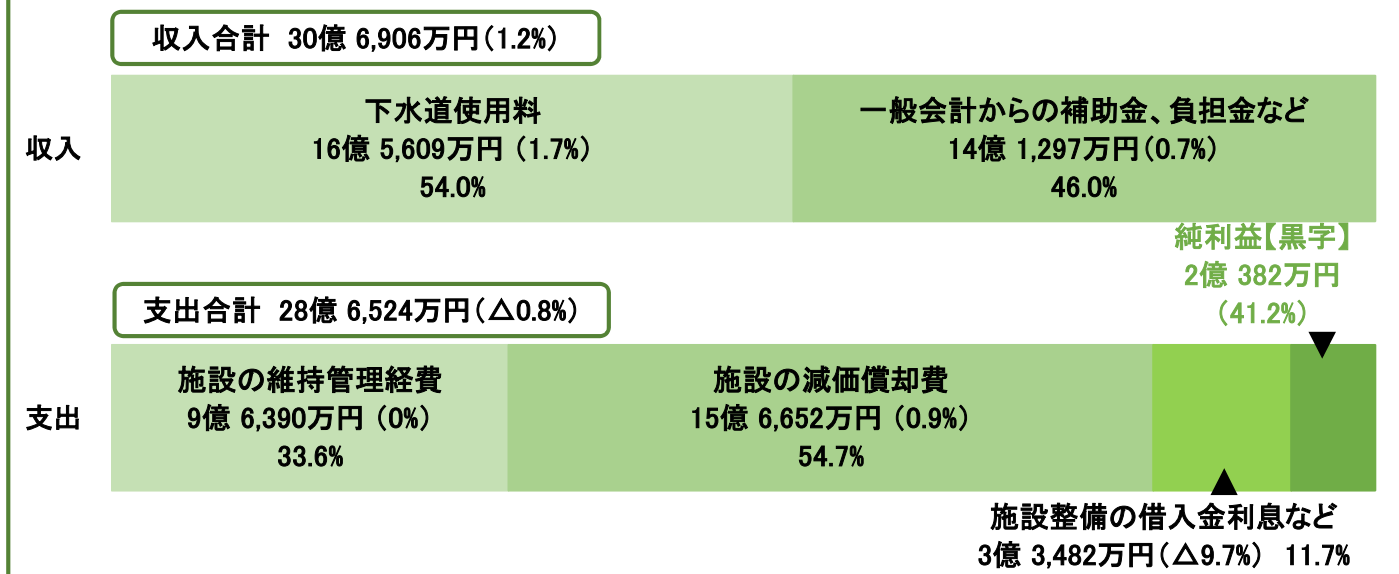


下水道事業会計

※ () は対前年度比増減比率

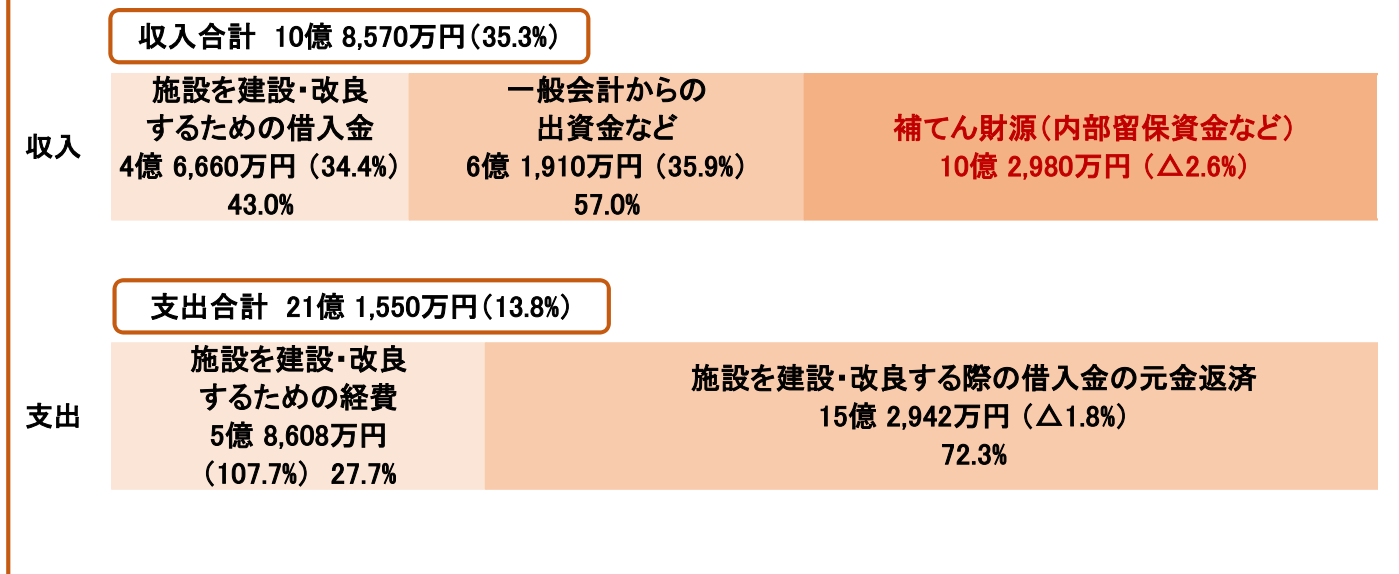
収益的収支(消費税抜き)

下水を適正に浄化・処理するために必要な経費と財源



資本的収支(消費税込み)

下水管や処理場などの施設を建設・改良するために必要な経費と財源



おいしい水を安定的に供給する水道 (特別会計)

予算額 3,233,500千円

(前年度予算額 3,413,700千円)



市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、水道施設の長寿命化や規模の適正化を図るとともに、計画的かつ効率的な施設の整備及び維持管理を推進する。

- 加圧ポンプ場の能力増強及び老朽管の耐震化率向上に向け、水道施設の計画的な更新を実施
 - ・王子加圧ポンプ場築造工事
 - ・水道老朽管耐震化工事(2箇所)
- 南丹市への水道用水供給事業の供給開始により、水道事業の広域的な連携を推進
- 上下水道部新庁舎への移転整備により、災害に強い庁舎機能の確保及び市民サービスのワンストップ化を推進



水質保全と快適なくらしを築く下水道 (特別会計)

予算額 5,124,400千円

(前年度予算額 4,900,700千円)



下水道の整備による生活排水の処理を通じて、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちを守り続けるため、下水道施設の適正な維持管理及び改築更新を推進する。

- 下水道ストックマネジメント計画に基づき、年谷浄化センターの改築更新事業を実施
 - ・年谷浄化センター改築更新工事
(機械濃縮設備、沈砂池設備、自家発電設備)
 - ・下水道ストックマネジメント計画に基づく実施設計
 - ・下水道ストックマネジメント計画策定
- 年谷浄化センター消化ガス発電事業の円滑な運営により、地産地消のエネルギー循環の推進
- 下水道マンホール蓋をPR蓋に交換し、下水道のPRを推進(亀岡駅南側)



2 水道事業会計予算

(1) 業務の予定量

項 目	令和3年度 予 算	令和2年度 予 算	前 年 度 比 較		令和元年度 決 算
			増 減	比 率	
年 間 給 水 量	9,064,955m ³	9,117,923m ³	△ 52,968m ³	99.4%	9,072,163m ³
年 度 末 給 水 戸 数	32,144戸	32,059戸	85戸	100.3%	32,173戸

(2) 主要な建設改良事業

○王子加圧ポンプ場築造工事 103,290千円

- ・事業内容 加圧ポンプ場新設
- ・財源内訳 企業債 61,700千円
- 自己資金 41,590千円

○水道老朽管耐震化工事 505,241千円

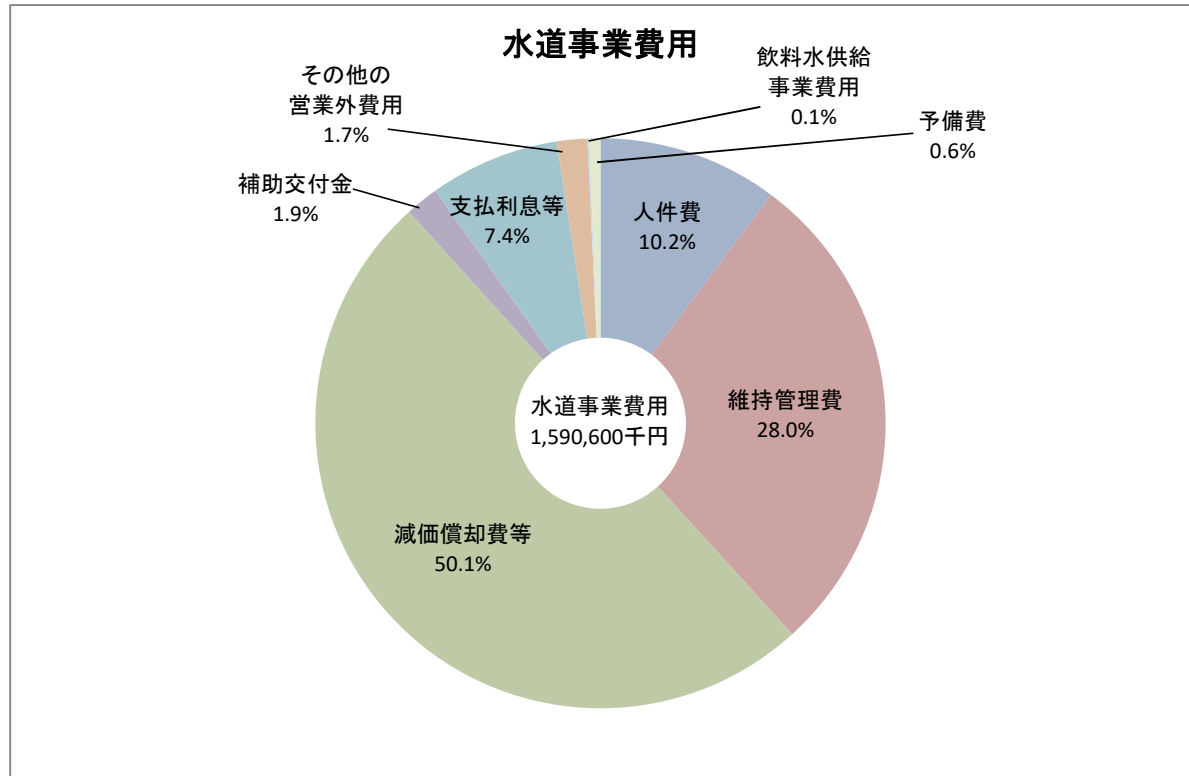
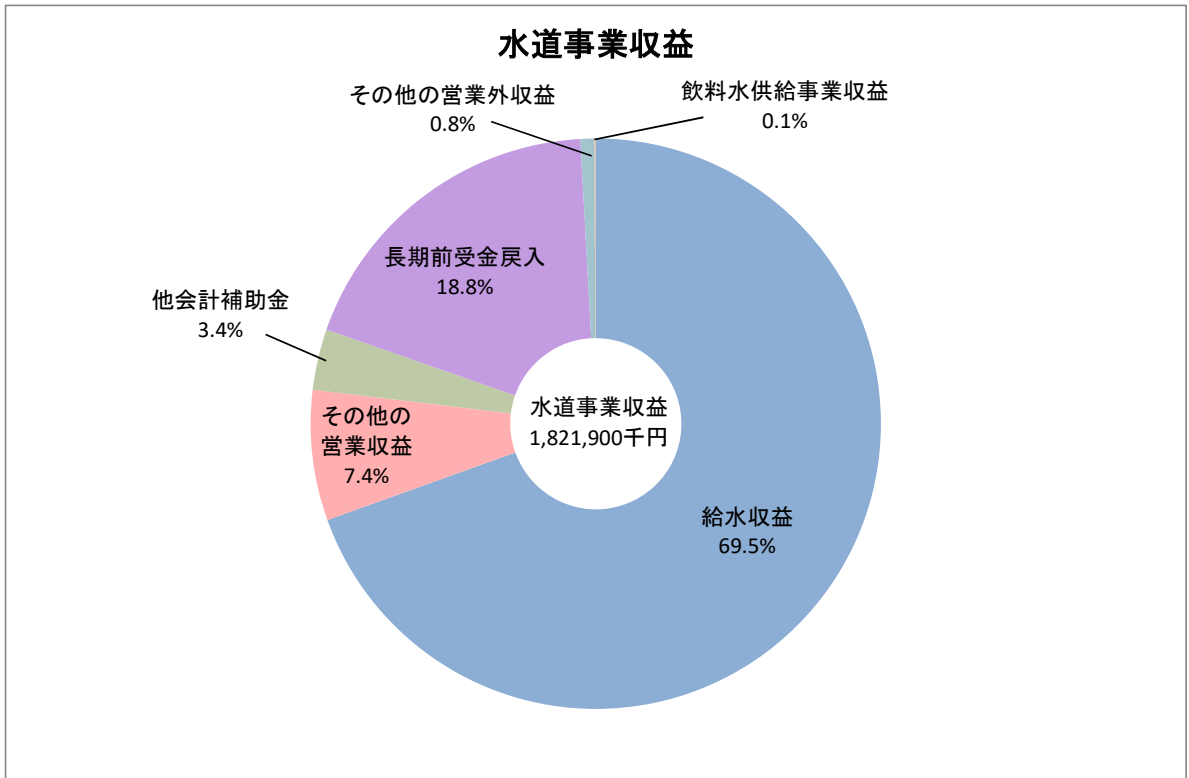
- ・事業内容 19工区（西つつじヶ丘地内） L=1,700m（φ75～300mm）
- 20工区（千代川・大井町地内） L= 295m（φ600mm）
- ・財源内訳 企業債 301,600千円
- 一般会計出資金 90,000千円
- 自己資金 113,641千円

(3) 水道事業会計令和3年度当初予算額内訳

◎収益的収入及び支出【消費税込み】

項 目	令和3年度 当初予算額 ①	令和2年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ④/②
水道事業収益(A)	1,821,900千円	1,777,500千円	44,400千円	102.5%
営業収益	1,400,989千円	1,352,602千円	48,387千円	103.6%
給水収益	1,266,421千円	1,250,960千円	15,461千円	101.2%
その他の営業収益	134,568千円	101,642千円	32,926千円	132.4%
営業外収益	419,525千円	423,754千円	△ 4,229千円	99.0%
他会計補助金	62,902千円	57,344千円	5,558千円	109.7%
長期前受金戻入	342,113千円	351,487千円	△ 9,374千円	97.3%
その他の営業外収益	14,510千円	14,923千円	△ 413千円	97.2%
附帯事業収益	1,386千円	1,144千円	242千円	121.2%
飲料水供給事業収益	1,386千円	1,144千円	242千円	121.2%
水道事業費用(B)	1,590,600千円	1,626,200千円	△ 35,600千円	97.8%
営業費用	1,434,295千円	1,454,201千円	△ 19,906千円	98.6%
人件費	162,584千円	177,025千円	△ 14,441千円	91.8%
維持管理費	445,930千円	433,022千円	12,908千円	103.0%
薬品費	2,237千円	2,631千円	△ 394千円	85.0%
動力費	110,193千円	115,520千円	△ 5,327千円	95.4%
修繕費	83,770千円	91,542千円	△ 7,772千円	91.5%
委託料	191,669千円	170,043千円	21,626千円	112.7%
その他の維持管理費	58,061千円	53,286千円	4,775千円	109.0%
減価償却費等	795,869千円	821,502千円	△ 25,633千円	96.9%
補助交付金	29,912千円	22,652千円	7,260千円	132.1%
営業外費用	144,805千円	160,766千円	△ 15,961千円	90.1%
支払利息等	117,317千円	126,213千円	△ 8,896千円	93.0%
その他の営業外費用	27,488千円	34,553千円	△ 7,065千円	79.6%
附帯事業費用	1,500千円	1,233千円	267千円	121.7%
飲料水供給事業費用	1,500千円	1,233千円	267千円	121.7%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
収益的収支差引額(C)((A)-(B))	231,300千円	151,300千円	80,000千円	152.9%

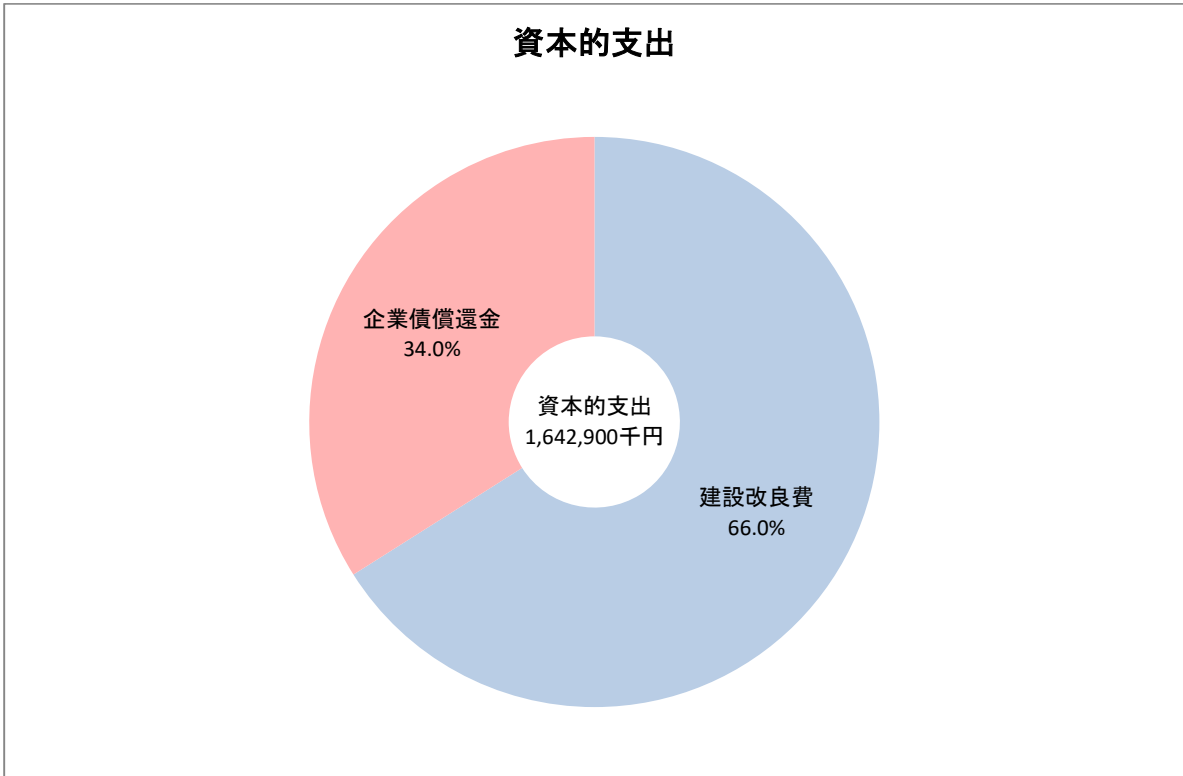
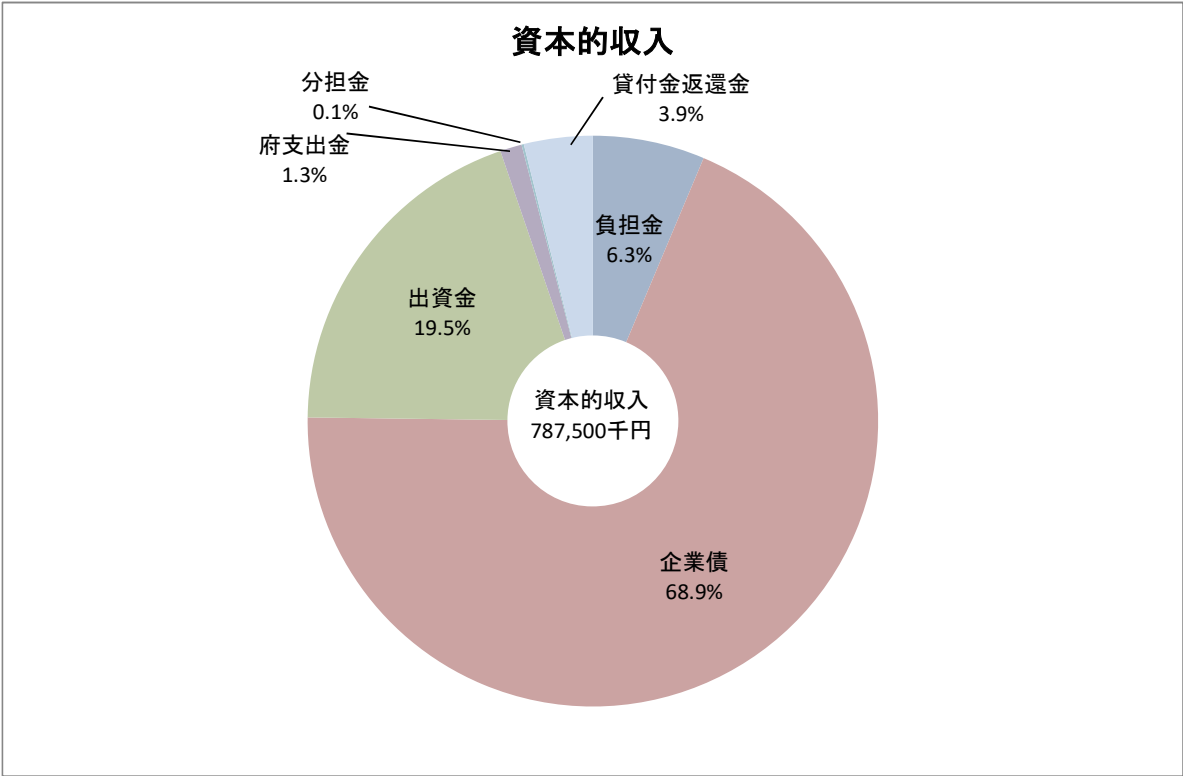
令和3年度収益的収支当初予算額の構成



◎資本的收入及び支出【消費税込み】

項 目	令和3年度 当初予算額 ①	令和2年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ①/②
資本的收入(D)	787,500千円	888,600千円	△ 101,100千円	88.6%
負担金	49,935千円	76,649千円	△ 26,714千円	65.1%
企業債	542,300千円	589,100千円	△ 46,800千円	92.1%
出資金	153,843千円	182,501千円	△ 28,658千円	84.3%
府支出金	9,792千円	9,620千円	172千円	101.8%
分担金	1,000千円	183千円	817千円	546.4%
固定資産売却代金	0千円	100千円	△ 100千円	皆減
貸付金返還金	30,630千円	30,447千円	183千円	100.6%
資本の支出(E)	1,642,900千円	1,787,500千円	△ 144,600千円	91.9%
建設改良費	1,084,718千円	1,254,421千円	△ 169,703千円	86.5%
企業債償還金	558,182千円	533,054千円	25,128千円	104.7%
補助金等返還金	0千円	25千円	△ 25千円	皆減
資本の収支差引額(F)((D)-(E))	△ 855,400千円	△ 898,900千円	43,500千円	95.2%
損益勘定留保資金等充当額(G)	855,400千円	898,900千円	△ 43,500千円	95.2%
補てん財源充当後差引額 ((F)+(G))	0千円	0千円	0千円	—

令和3年度資本的収支当初予算額の構成



3 下水道事業会計予算

(1) 業務の予定量

項 目	令和3年度 予 算	令和2年度 予 算	前年度比較		令和元年度 決 算
			増 減	比 率	
年 間 排 水 量	8,609,796m ³	8,585,787m ³	24,009m ³	100.3%	8,519,436m ³
年度末処理可能戸数	36,990戸	36,180戸	810戸	102.2%	36,282戸
年度末水洗化戸数	35,843戸	34,769戸	1,074戸	103.1%	34,650戸
水 洗 化 率	96.9%	96.1%	0.8%	100.8%	95.5%

(2) 主要な建設改良事業

○処理場建設改良事業

508,760千円

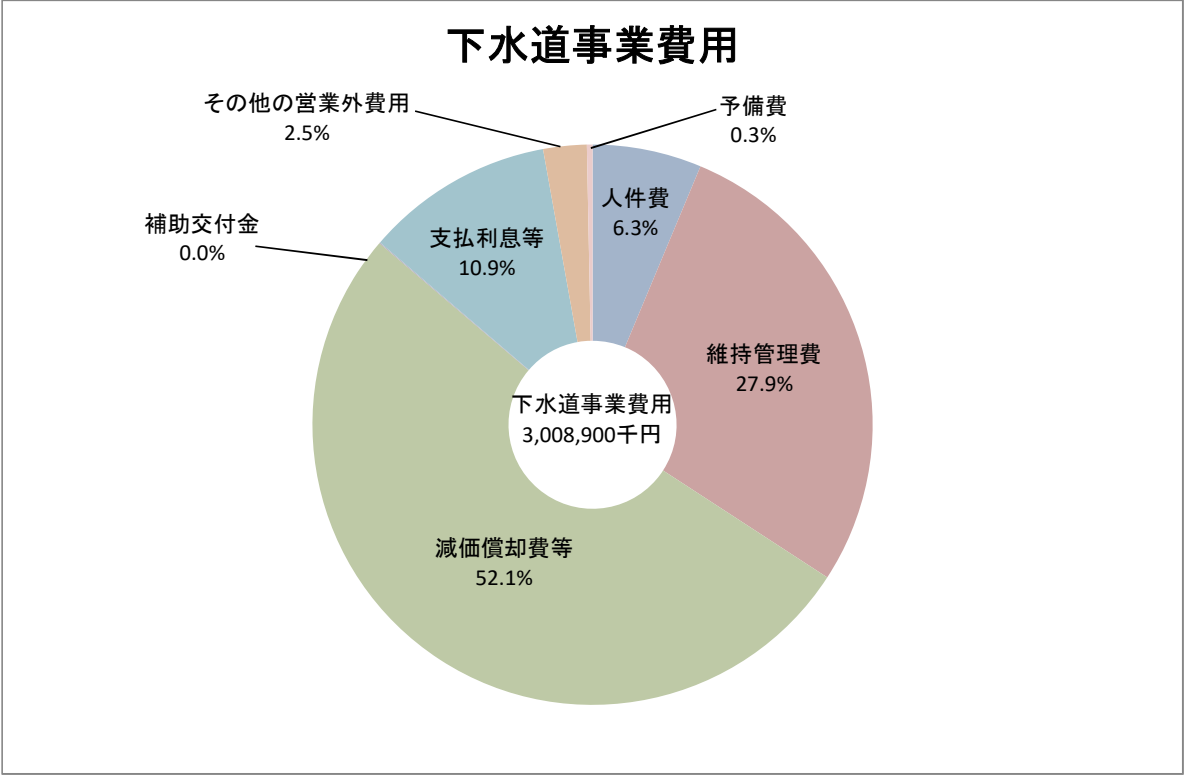
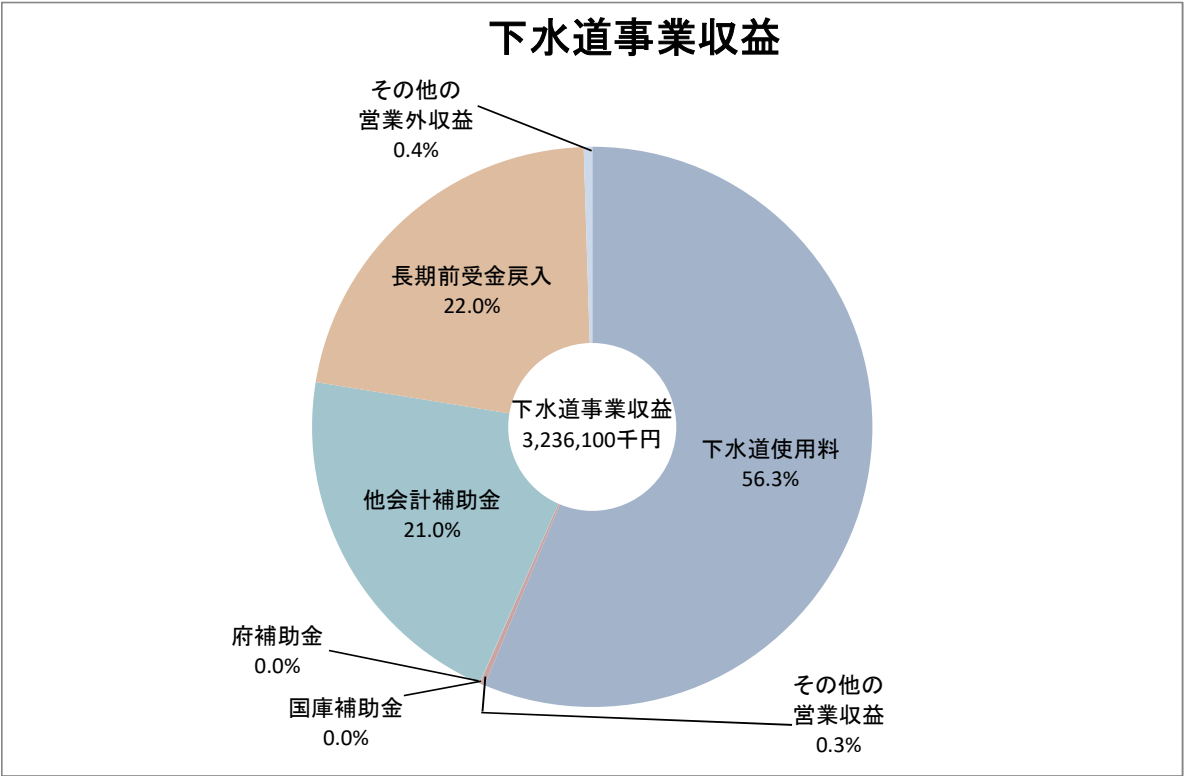
- ・ 事業内容
 - 年谷浄化センター改築更新工事
(機械濃縮設備、沈砂池設備、自家発電設備)
 - 下水道ストックマネジメント計画に基づく実施設計
 - 下水道ストックマネジメント計画策定
- ・ 財源内訳
 - 国庫支出金 (5.5/10、1/2) 262,680千円
 - 企業債 225,700千円
 - 自己資金 20,380千円

(3) 下水道事業会計令和3年度当初予算額内訳

◎収益的収入及び支出【消費税込み】

項 目	令和3年度 当初予算額 ①	令和2年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ④(①/②)
下水道事業収益(A)	3,236,100千円	3,195,700千円	40,400千円	101.3%
営業収益	1,830,658千円	1,802,848千円	27,810千円	101.5%
下水道使用料	1,821,696千円	1,792,072千円	29,624千円	101.7%
その他の営業収益	8,962千円	10,776千円	△ 1,814千円	83.2%
営業外収益	1,405,442千円	1,392,852千円	12,590千円	100.9%
国庫補助金	350千円	300千円	50千円	116.7%
府補助金	500千円	500千円	0千円	100.0%
他会計補助金	678,429千円	683,097千円	△ 4,668千円	99.3%
長期前受金戻入	710,386千円	703,886千円	6,500千円	100.9%
その他の営業外収益	15,777千円	5,069千円	10,708千円	311.2%
下水道事業費用(B)	3,008,900千円	3,041,400千円	△ 32,500千円	98.9%
営業費用	2,596,201千円	2,582,906千円	13,295千円	100.5%
人件費	189,270千円	189,145千円	125千円	100.1%
維持管理費	838,918千円	839,057千円	△ 139千円	100.0%
薬品費	10,493千円	10,573千円	△ 80千円	99.2%
動力費	126,961千円	126,957千円	4千円	100.0%
修繕費	127,987千円	113,464千円	14,523千円	112.8%
委託料	521,631千円	532,119千円	△ 10,488千円	98.0%
その他の維持管理費	51,846千円	55,944千円	△ 4,098千円	92.7%
減価償却費等	1,566,513千円	1,552,964千円	13,549千円	100.9%
補助交付金	1,500千円	1,740千円	△ 240千円	86.2%
営業外費用	402,699千円	448,494千円	△ 45,795千円	89.8%
支払利息等	327,370千円	363,271千円	△ 35,901千円	90.1%
その他の営業外費用	75,329千円	85,223千円	△ 9,894千円	88.4%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
予備費	10,000千円	10,000千円	0千円	100.0%
収益的収支差引額(C)((A)-(B))	227,200千円	154,300千円	72,900千円	147.2%

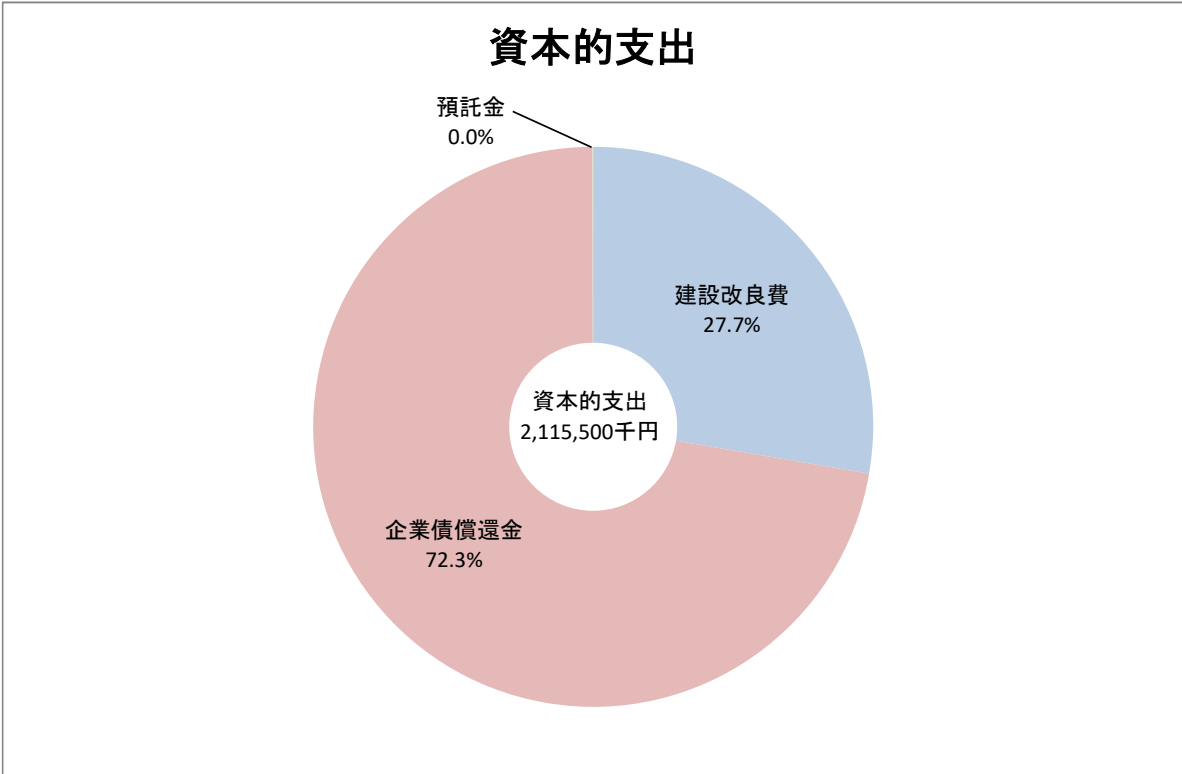
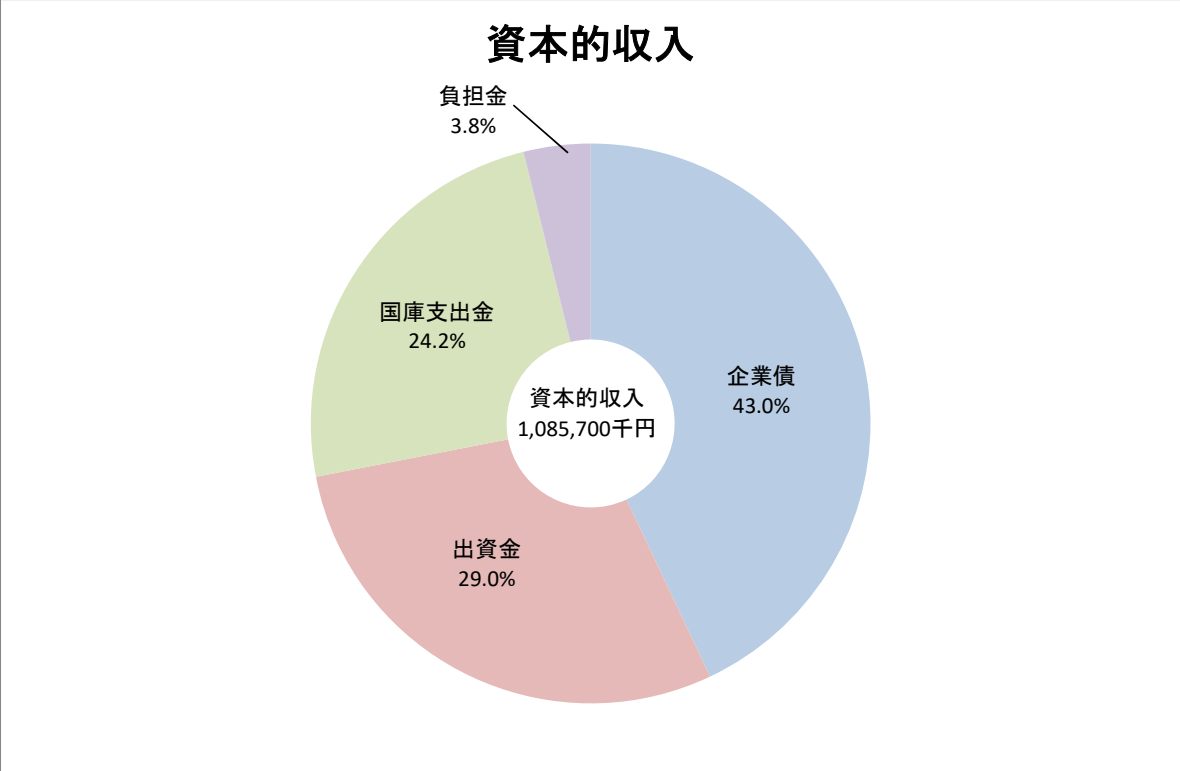
令和3年度収益的収支当初予算額の構成



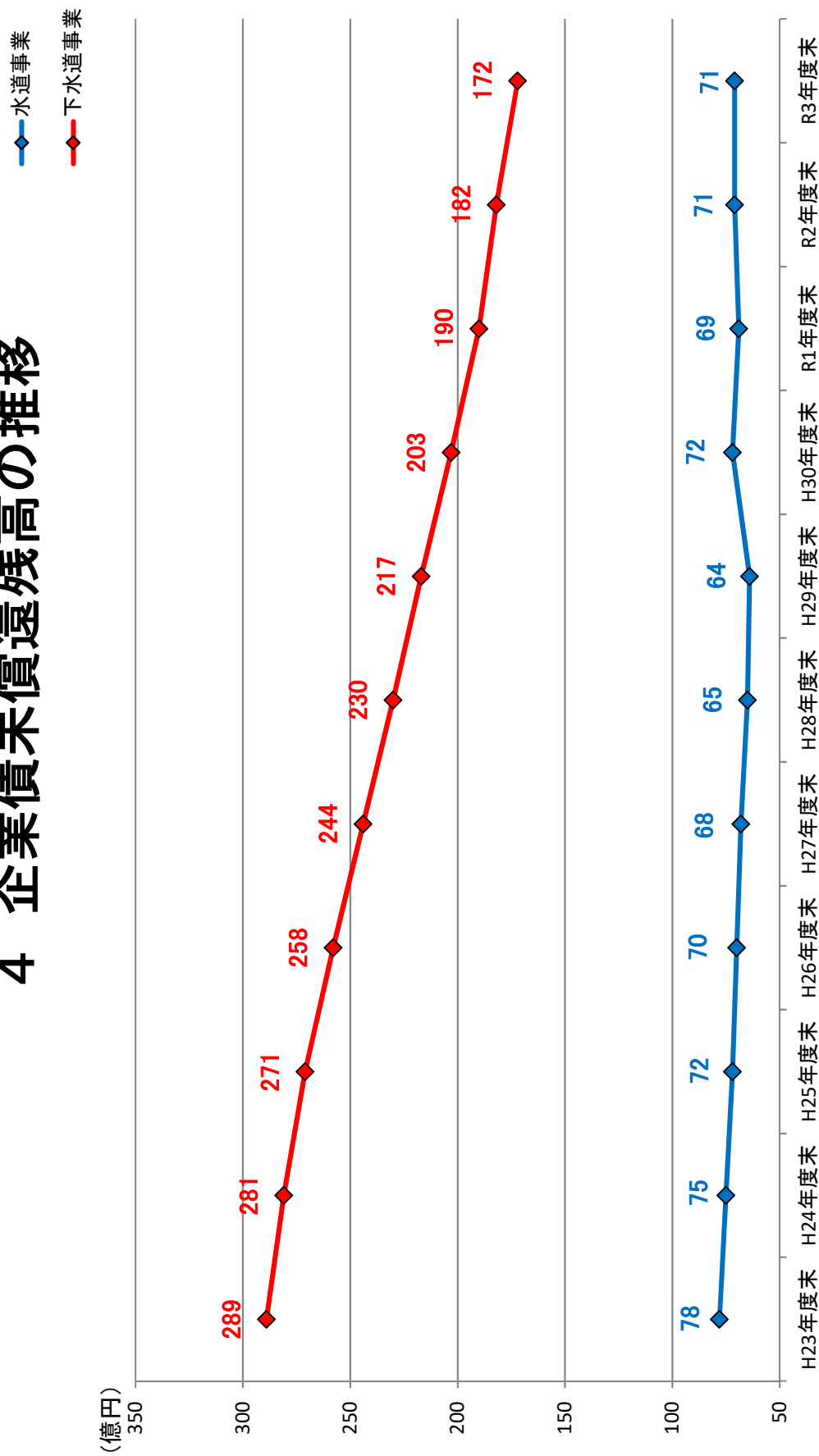
◎資本的收入及び支出【消費税込み】

項 目	令和3年度 当初予算額 ①	令和2年度 当初予算額 ②	前年度比較	
			増減額 ③(①-②)	比率 ①/②
資本的收入(D)	1,085,700千円	802,500千円	283,200千円	135.3%
企業債	466,600千円	347,100千円	119,500千円	134.4%
出資金	314,527千円	308,176千円	6,351千円	102.1%
国庫支出金	262,680千円	122,590千円	140,090千円	214.3%
負担金	41,893千円	24,634千円	17,259千円	170.1%
資本の支出(E)	2,115,500千円	1,859,300千円	256,200千円	113.8%
建設改良費	585,432千円	281,475千円	303,957千円	208.0%
企業債償還金	1,529,418千円	1,577,175千円	△ 47,757千円	97.0%
預託金	650千円	650千円	0千円	100.0%
資本的収支差引額(F)((D)-(E))	△ 1,029,800千円	△ 1,056,800千円	27,000千円	97.4%
損益勘定留保資金等充当額(G)	1,029,800千円	1,056,800千円	△ 27,000千円	97.4%
補てん財源充当後差引額 ((F)+(G))	0千円	0千円	0千円	—

令和3年度資本的収支当初予算額の構成



4 企業債未償還残高の推移



※水道事業については、H29年度末までは簡易水道事業分を含まない上水道事業分のみです。
 ※下水道事業については、地域下水道事業分を含みます。

5 参考資料

○令和3年度亀岡市水道事業予定損益計算書

○令和3年度亀岡市水道事業予定貸借対照表

○令和3年度亀岡市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

○令和3年度亀岡市下水道事業予定損益計算書

○令和3年度亀岡市下水道事業予定貸借対照表

○令和3年度亀岡市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和3年度亀岡市水道事業予定損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1	営業収益		
	(1) 給水収益	1,151,292	
	(2) その他営業収益	<u>123,180</u>	1,274,472
2	営業費用		
	(1) 原水及び浄水費	208,876	
	(2) 配水及び給水費	187,653	
	(3) 業務費	61,096	
	(4) 総係費	141,639	
	(5) 減価償却費	794,121	
	(6) 資産減耗費	1,748	
	(7) その他営業費用	<u>10,000</u>	<u>1,405,133</u>
	営業損失		130,661
3	営業外収益		
	(1) 受取利息及び配当金	835	
	(2) 他会計補助金	62,902	
	(3) 長期前受金戻入	342,113	
	(4) 雑収益	<u>13,212</u>	419,062
4	営業外費用		
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	117,317	
	(2) 雑支出	<u>3,891</u>	<u>121,208</u>
	経常利益		167,193
5	附帯事業収益		
	(1) 飲料水供給事業収益	<u>1,364</u>	1,364
6	附帯事業費用		
	(1) 飲料水供給事業費用	<u>1,364</u>	<u>1,364</u>
	当年度純利益		167,193
	前年度繰越利益剰余金		<u>0</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>167,193</u></u>

令和3年度亀岡市水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		1,344,057	
ロ 建 物	1,456,517		
減価償却累計額	<u>△ 679,058</u>	777,459	
ハ 構 築 物	34,287,181		
減価償却累計額	<u>△ 14,690,885</u>	19,596,296	
ニ 機 械 及 び 装 置	4,441,169		
減価償却累計額	<u>△ 2,711,130</u>	1,730,039	
ホ 車 両 運 搬 具	30,088		
減価償却累計額	<u>△ 21,157</u>	8,931	
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	205,817		
減価償却累計額	<u>△ 177,489</u>	28,328	
ト リ ー ス 資 産	8,081		
減価償却累計額	<u>△ 2,909</u>	5,172	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>309,139</u>	
有形固定資産合計			23,799,421
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		50	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア		<u>14,416</u>	
無形固定資産合計			14,466
(3) 投 資 そ の 他 資 産			
イ 出 資 金		1,500	
ロ 長 期 貸 付 金		<u>30,815</u>	
投資その他資産合計			<u>32,315</u>
固定資産合計			23,846,202
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
(2) 未 収 金		154,721	2,884,277
貸 倒 引 当 金		<u>△ 7,218</u>	147,503
(3) 貯 蔵 品			
流動資産合計			<u>5,858</u>
資産合計			<u>3,037,638</u>
資産合計			<u>26,883,840</u>

負債の部

3	固定負債		
(1)	企業債		
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>6,499,935</u>	
	企業債合計		6,499,935
(2)	リース債務		3,285
(3)	引当金		203,844
(4)	その他固定負債		<u>216,599</u>
	固定負債合計		6,923,663
4	流動負債		
(1)	一時借入金		0
(2)	企業債		
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>587,102</u>	
	企業債合計		587,102
(3)	リース債務		1,781
(4)	未払金		406,431
(5)	引当金		16,252
(6)	預り保証金		900
(7)	預り金		<u>7,528</u>
	流動負債合計		1,019,994
5	繰延収益		
(1)	長期前受金		15,489,792
	収益化累計額	<u>△ 6,290,140</u>	
	繰延収益合計		<u>9,199,652</u>
	負債合計		<u>17,143,309</u>

資本の部

6	資本金		
(1)	資本金	<u>8,877,016</u>	
	資本金合計		8,877,016
7	剰余金		
(1)	資本剰余金		607,768
(2)	利益剰余金		
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>255,747</u>	
	利益剰余金合計		<u>255,747</u>
	剰余金合計		<u>863,515</u>
	資本合計		<u>9,740,531</u>
	負債資本合計		<u><u>26,883,840</u></u>

令和3年度亀岡市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	167,193
減価償却費	794,121
固定資産除却費	1,748
引当金の増減額 (△は減少)	△ 9,507
長期前受金戻入額	△ 342,113
受取利息及び配当金	△ 835
支払利息	117,317
未収金の増減額 (△は増加)	28,931
未払金の増減額 (△は減少)	△ 65,518
預り金の増減額 (△は減少)	△ 200
小計	691,137
利息及び配当金の受取額	835
利息の支払額	△ 117,317
業務活動によるキャッシュ・フロー	574,655
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,229,952
負担金等による収入	45,765
長期貸付金回収による収入	30,630
リース債務支払額	△ 1,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,155,330
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	542,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 558,182
他会計からの出資による収入	153,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,961
資金増加額 (又は減少額)	△ 442,714
資金期首残高	3,326,991
資金期末残高	2,884,277

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法	定額法による。	
・主な耐用年数	建物	15～50年
	構築物	40～60年
	機械及び装置	15～20年
	車両運搬具	4～6年
	工具、器具及び備品	5～15年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。	
・主な耐用年数	ソフトウェア	5年

(3) リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品 先入先出法による原価法

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権・貸倒懸念債権等それぞれの貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は782,103千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和3年度において、退職手当として8,016千円を支給するため、退職給付引当金8,016千円を取り崩す。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当として40,873千円を支給するため、賞与引当金14,904千円を取り崩す。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として7,868千円を支出するため、法定福利費引当金2,839千円を取り崩す。

(4) 貸倒引当金の取崩し

令和3年度において、債権2,531千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金2,531千円を取り崩す。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは、下記の金額である。

1年内	1,781千円
1年超	3,285千円
計	5,066千円

IV. その他の注記

1 修繕引当金に係る経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の方法により取り崩すこととする。

令和3年度亀岡市下水道事業予定損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	1,656,087		
	(2) その他営業収益	<u>8,957</u>	1,665,044	
2	営業費用			
	(1) 管渠費	105,541		
	(2) ポンプ場費	44,190		
	(3) 処理場費	609,923		
	(4) 普及促進費	22,865		
	(5) 総係費	171,384		
	(6) 減価償却費	1,566,390		
	(7) 資産減耗費	123		
	(8) その他営業費用	<u>10,000</u>	<u>2,530,416</u>	
	営業損失			865,372
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	5		
	(2) 国庫補助金	350		
	(3) 府補助金	500		
	(4) 他会計補助金	678,429		
	(5) 長期前受金戻入	710,386		
	(6) 雑収益	<u>14,338</u>	1,404,008	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	327,370		
	(2) 雑支出	<u>7,450</u>	<u>334,820</u>	<u>1,069,188</u>
	経常利益			<u>203,816</u>
	当年度純利益			203,816
	前年度繰越利益剰余金			<u>165,383</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>369,199</u></u>

令和3年度亀岡市下水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		1,994,843	
ロ 建 物	2,049,153		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,038,401</u>	1,010,752	
ハ 構 築 物	60,305,002		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 22,956,558</u>	37,348,444	
ニ 機 械 及 び 装 置	11,662,042		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 7,510,747</u>	4,151,295	
ホ 車 両 運 搬 具	3,925		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 3,202</u>	723	
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	64,567		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 57,463</u>	7,104	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>337,563</u>	
有形固定資産合計			44,850,724
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		<u>1,335</u>	
無形固定資産合計			1,335
(3) 投 資 そ の 他 資 産			
イ 出 資 金		3,000	
ロ 預 託 金		<u>4,800</u>	
投資その他資産合計			<u>7,800</u>
固定資産合計			44,859,859
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
(2) 未 収 金		230,403	1,078,158
貸 倒 引 当 金	<u>△ 16,207</u>	<u>214,196</u>	
流動資産合計			<u>1,292,354</u>
資 産 合 計			<u><u>46,152,213</u></u>

負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,102,237		
	ロ その他企業債	<u>681,712</u>		
	企業債合計		15,783,949	
(2)	他会計借入金		22,800	
(3)	引当金		<u>216,067</u>	
	固定負債合計			16,022,816
4	流動負債			
(1)	一時借入金		0	
(2)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,421,212		
	ロ その他企業債	<u>33,841</u>		
	企業債合計		1,455,053	
(3)	未払金		231,555	
(4)	引当金		13,998	
(5)	預り保証金		<u>100</u>	
	流動負債合計			1,700,706
5	繰延収益			
(1)	長期前受金		33,117,596	
	収益化累計額		<u>△ 14,746,762</u>	
	繰延収益合計			<u>18,370,834</u>
	負債合計			<u>36,094,356</u>

資本の部

6	資本金			
(1)	資本金		<u>6,195,128</u>	
	資本金合計			6,195,128
7	剰余金			
(1)	資本剰余金		3,091,162	
(2)	利益剰余金			
	イ 減債積立金	402,368		
	ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>369,199</u>		
	利益剰余金合計		<u>771,567</u>	
	剰余金合計			<u>3,862,729</u>
	資本合計			<u>10,057,857</u>
	負債資本合計			<u><u>46,152,213</u></u>

令和3年度亀岡市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	203,816
	減価償却費	1,566,390
	固定資産除却費	123
	引当金の増減額 (△は減少)	△ 4,029
	長期前受金戻入額	△ 710,386
	受取利息及び配当金	△ 5
	支払利息	327,370
	未収金の増減額 (△は増加)	△ 3,020
	未払金の増減額 (△は減少)	△ 22,872
	小計	1,357,387
	利息及び配当金の受取額	5
	利息の支払額	△ 327,370
	業務活動によるキャッシュ・フロー	1,030,022
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 500,991
	補助金による収入	238,800
	負担金等による収入	38,557
	預託金による支出	△ 650
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 224,284
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	466,600
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,482,793
	その他企業債による収入	136,000
	その他企業債の償還による支出	△ 46,625
	他会計からの出資による収入	314,527
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 612,291
	資金増加額 (又は減少額)	193,447
	資金期首残高	884,711
	資金期末残高	1,078,158

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。	
・主な耐用年数	建物	15～50年
	構築物	50年
	機械及び装置	15～20年
	車両運搬具	4～6年
	工具、器具及び備品	5～15年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権・貸倒懸念債権等それぞれの貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は11,251,428千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和3年度において、退職手当として36,786千円を支給するため、退職給付引当金36,786千円を取り崩す。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当として35,154千円を支給するため、賞与引当金11,319千円を取り崩す。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として6,826千円を支出するため、法定福利費引当金2,189千円を取り崩す。

(4) 貸倒引当金の取崩し

令和3年度において、債権3,145千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金3,145千円を取り崩す。